

平成15年度 宇宙開発品質保証シンポジウム

# 「宇宙を身近に！おもしろい話」 シンポジウム in 大阪 —宇宙に活かす 高品質なモノづくり—

月日：平成15年**8月7日**(木)  
時間：10:00～17:30(開場・受付9:30～)  
主催：宇宙開発事業団 安全・信頼性管理部  
協力：財団法人 大阪科学技術センター  
場所：大阪商工会議所 国際会議ホール

大阪市中央区本町橋2-8  
地下鉄堺筋線・堺筋本町駅 1・12番出口より徒歩8分  
地下鉄谷町線・谷町4丁目駅 4番出口より徒歩8分

お問合せ：(株)プライムインターナショナル  
東京都渋谷区東3-6-18プライムハウス303〒150-0011  
Tel. 03-5467-5539 Fax. 03-5467-5538  
<http://www.prime-intl.co.jp/nasda-hinshitsu/>

## 入場無料

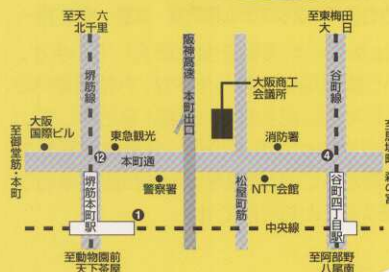


「みどりII」

「マイクロラプサット」



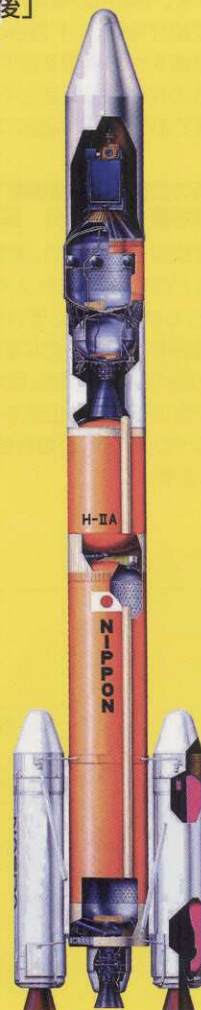
- 10:00 開会
- 10:03～10:10 ご挨拶  
宇宙開発事業団 安全・信頼性管理部長 黒崎 忠明
- 10:10～10:40 「宇宙機の失敗から学ぶもの」  
宇宙開発事業団 特任参事(信頼性管理総括監) 佐木 誠夫
- 10:40～12:00 「くじら衛星(観太くん)とその後」  
千葉工業大学 教授 林 友直
- 12:00～13:00 昼食 \*\*\* ビデオ上映 \*\*\*



「観太くん」

- 13:00～13:40 「品質で世界を目指した太陽電池」  
シャープ(株) ソーラーシステム事業部 製品品質部 部長 清田 吉春
- 13:40～14:20 「非破壊検査でこんなことができます」  
非破壊検査(株) 安全工学研究所 所長 吉荒 俊克
- 14:20～15:00 「ホイール(人工衛星搭載機器)擾乱測定装置の開発」  
(株)小野電機製作所 代表取締役 小野 美未彦
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～16:00 「商用衛星とそのリスクマネジメント」  
三菱電機(株) 商用衛星営業部 部長 坂戸 美朝
- 16:00～16:30 「ポカよけの進め方」  
宇宙開発事業団 安全・信頼性管理部 招聘開発部員 福岡 勝
- 16:30～17:00 「小さい衛星の将来は大きい」  
宇宙開発事業団 技術研究本部 マイクロスペースシステム研究室 室長 橋本 英一
- 17:00～17:30 「おいでやすオープンラボへ」  
宇宙開発事業団 衛星総合システム本部 衛星プログラム推進部 主任開発部員 福田 徹
- 17:30 閉会

●参加登録は裏面の申込書をファックスしてください。またはホームページ  
<http://www.prime-intl.co.jp/nasda-hinshitsu/> から登録できます。



「H-2Aロケット」



# 「宇宙を身近に！おもしろい話」 シンポジウム in 大阪

—宇宙に活かす 高品質なモノづくり—

ご挨拶 10:03～

宇宙開発事業団 安全・信頼性管理部長 黒崎 忠明

「宇宙機の失敗から学ぶもの」 10:10～

宇宙開発事業団 特任参事(信頼性管理総括監) 佐木 誠夫

H-IIAロケットの民営化、国産による商用衛星の受注等、今後国際宇宙ビジネス商戦に参加していくには安価で、高信頼性・高品質なモノづくりが必要不可欠であると考えます。些細なミスが命取りになる。ここに紹介する宇宙開発の失敗事例から学び、高信頼性・高品質なモノづくりを行うことが重要であると考えます。高品質技術は元々日本が得意の分野であり、基本に立ち返ることが望まれているのではないかと。

「くじら衛星(観太くん)とその後」 10:40～

千葉工業大学 教授 林 友直

鯨生態観測衛星システムの成り立ちと仕組みについて、ビデオ、模型実験などを交えて説明し、同システムによって広汎な用途が開けることを紹介します。さらに宇宙開発の枠組みの中で、小型衛星の開発体制と取り組み方はいかにあるべきかという問題について考えを述べます。

昼食・休憩 打上げビデオ等の放映 12:00～

「品質で世界を目指した太陽電池」 13:00～

シャープ株式会社 ソーラーシステム事業部 製品品質部 部長 清田 吉春

太陽電池の品質保証を行うための基本的な管理項目(ISO9001対応)及び製品の企画構想、設計、試作、量産、出荷、市場までの品質保証を紹介いたします。宇宙用太陽電池および地上用太陽電池への要求事項についての比較紹介を行い、不具合となるポイントについて、ハード面およびソフト面の考慮すべき事項を説明します。また、不具合の原因と対策について、不具合の発生原因特定と不具合品の市場(ユーザ)への流出原因の特定が重要であり、その両面について恒久対策すべき事をご紹介します。

最新の技術「非破壊検査でこんなことができます」 13:40～

非破壊検査株式会社 技術本部 安全工学研究所 所長 吉荒 俊克

高度成長社会の中で、高層ビル、高速道路、重工業プラント、大型輸送機器などの恩恵を受け、人々は快適な生活を送ることができるようになりました。しかしながら、それらはひとたび事故を起こすと、人命に係わる甚大な被害をきたすものに豹変します。「非破壊検査」とは、壊さずに物の中身を調べる技術であり、我々の生活に係わるいろいろなものに適用され、人々が安全に安心して生活できることを担保しています。ここでは、非破壊検査のやり方、および最新技術について、ロケットへの適用状況を含めて紹介します。

「ホイール(人工衛星搭載機器)擾乱測定装置の開発」 14:20～

株式会社小野電機製作所 代表取締役 小野 芙未彦

関東の職人・匠が、宇宙へ打ち上げる人工衛星の品質を高める測定装置を製作しました。宇宙開発はロケットや人工衛星だけではなく、それらを地上で検査・試験する装置・設備等も必要です。この装置・設備も高精度、高品質が要求され職人・匠の技術が必要です。

コーヒーブレイク 15:00～

「商用衛星とそのリスクマネジメント」 15:20～

三菱電機株式会社 商用衛星営業部 部長 坂戸 美樹

商用衛星は打上げてから10年以上確実にサービスすることがミッションですが、商用衛星ビジネスでは、計画、設計、製造、試験、打上げ、軌道上での維持管理等の長期に渡り様々なリスクが有ります。「商用衛星ビジネスのリスク削減、残ったリスクのヘッジを、いかに低コスト、高品質に実現するか」という広い意味の品質管理(リスク管理)について、実例を交えてご紹介します。

「ポカよけの進め方」 16:00～

宇宙開発事業団 安全・信頼性管理部 招聘開発部員 福岡 勝

うっかりミス、ポカミス。些細なことが企業経営を圧迫、信頼をなくす原因ともなりかねません。なくそう、うっかりミス、ポカミス。進め方を伝授しましょう。

「小さい衛星の将来は大きい」 16:30～

宇宙開発事業団 技術研究本部 マイクロスペースシステム研究室 室長 橋本 英一

NASDAは50kg級および150kg級の小型衛星を開発研究しています。従来の大型衛星は8～10年という開発期間を要しますが、小型衛星は2～3年で製作できます。小さくするために民生部品(機器)を活用しています。宇宙実験が早く安価に実現できると大学、研究所、企業など新たなユーザが開拓できます。小型衛星群として20数機を全地球に配置するなど複数で実用的なシステムを構築することも可能です。

「おいでやすオープンラボへ」 17:00～

宇宙開発事業団 衛星総合システム本部 衛星プログラム推進部 主任開発部員 福田 徹

これからの宇宙活動を発展させるためには、従来の宇宙専門家に加え、産業界、学界、そして一般まで含めた宇宙専門でない方々の広範な参加による新たな発想と技術の注入が是非とも必要です。そのため、宇宙へのしきいを下げ参加を容易にする(Easy access to Space)仕組みとして「オープンラボ」の構想が生まれました。オープンラボの第一弾としてのベンチャー制度の現状と、今後のオープンラボの展開の構想をご紹介します。

閉会 17:30

## 参加申込み書

代表者氏名	参加人数	名
所属先	役職	
住所		
TEL.	FAX.	
E-MAIL		